

米沢市報道資料

「第 19 回秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞」
入賞・入選作品について

令和 8 年 9 月 29 日
文化課
文化振興担当
電話 21-6111（内線 7552）

本市が創設した「秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞」には、今年も全国から多くの作品が寄せられ、この度第 19 回の受賞作品が決定しました。

つきましては、下記のとおり入賞・入選作品を御報告いたします。これに伴い授賞式、入賞作品展も開催いたしますので御案内申し上げます。

記

1 入賞・入選作品

文化賞	1 点	
部門賞	2 点	
米沢賞	1 点	
ユース賞	1 点	
入 選	30 点	別紙資料のとおり

2 今後の予定

授賞式	令和 8 年 10 月 24 日（土） 14 時～ よねざわ市民ギャラリー
入賞作品展	令和 8 年 10 月 24 日（土）～11 月 1 日（日） 10 時～18 時 よねざわ市民ギャラリー

3 受賞作品データについて

文化賞、部門賞 2 点、米沢賞、ユース賞の作品データを以下の URL に保存していますので御覧いただき、適宜活用願います。

保存場所 (DirectCloud (ダイレクトクラウド))

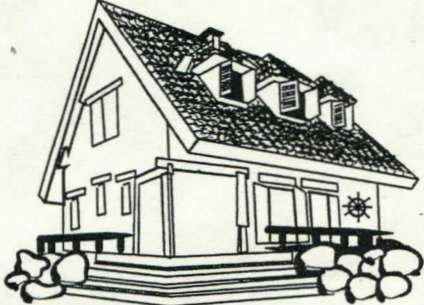
URL <https://link.directcloud.jp/mm0mqgAxWU>

パスワード 936IYQJE

有効期限 令和 8 年 11 月 30 日

上記から入手できない場合は、お手数ですが担当まで御連絡をお願いします。

秋山庄太郎と米沢

- 1973年(昭和48) 2月 米沢の写真グループ「フォト集団よねざわ」が東京・銀座の数寄屋橋ショッピングセンターにて写真展を開催
(このときの関係者の縁で秋山は米沢を訪問することになる)
- 5月 富士写真フィルムの写真撮影会の指導で山形市を訪れる
このとき米沢にも訪れ、白布温泉に宿泊
- 10月 太平温泉にて芋煮会
- 1974年(昭和49) 5月 東京の二科会写真部のメンバーと再び来市
米沢にアトリエを建設しようと思いつく
- 1976年(昭和51) 4月3日 アトリエ建設開始
本人の希望でヨーロッパの田舎風のデザインとする
(1階がギャラリー兼集会所、2階が居室・寝室)
- 10月 山粧亭完成「山粧亭新築パーティー」開催
- 以後毎年米沢を訪れる。
夜桜会や芋煮会、忘年会など、
毎年恒例のイベントが地元の
人を交えて開催され、写真談義に
花を咲かせる。
- 
- 1980年(昭和55) 1月 花を愛する写真愛好家の会「花の会」の設立総会を山粧亭で開催
- 1981年(昭和56) 10月 「山粧亭5周年記念パーティー」開催
- 1985年(昭和60) 11月22日 「米沢市民教養セミナー」にて講演 演題「私の写真人生」
- 1986年(昭和61) 10月19日 「山粧亭10周年芋煮会」開催
- 1988年(昭和63) 10月 ギャラリーピエロ10周年記念「秋山庄太郎写真展」開催(米沢市民ギャラリー)
- 1996年(平成8) 10月13日 「山粧亭20周年のつどい」開催
- 2001年(平成13) 町田市フォトサロン「秋山庄太郎美術館」で「米沢展」開催
- 2003年(平成15) 1月16日 秋山庄太郎没
- 2005年(平成17) 8月21日 「山粧亭さよならパーティー」開催
9月12日 山粧亭解体工事はじまる
12月 山粧亭跡地が遺族より米沢市に寄贈される
- 2007年(平成19) 秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞設立

第 19 回 秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞 応募状況

応募人数 2 7 8 人

(第 18 回 253 人 第 17 回 312 人 第 16 回 461 人)

応募点数 9 5 2 点

(第 18 回 859 点 第 17 回 1,100 点 第 16 回 1,534 点)

応募枚数 1,0 3 7 枚

(第 18 回 957 枚 第 17 回 1,250 枚 第 16 回 1,689 枚)

○ 部門別応募状況

部 門 名	応 募 者 数	応 募 点 数
花	1 6 1 人 (約 32.4%)	3 1 1 点 (約 32.7%)
自然・生き物	1 8 8 人 (約 37.8%)	3 4 8 点 (約 36.6%)
自由 (人物・スナップ等)	1 4 8 人 (約 29.8%)	2 9 3 点 (約 30.8%)
計	延 4 9 7 人	9 5 2 点

○ 男女別

男性 2 2 7 人 (81.7%)、822 点、894 枚

女性 5 1 人 (18.3%)、130 点、143 枚

○ 年代別

年 代	人 数
10 歳未満	0 人
10 歳台	3 1 人
20 歳台	8 人
30 歳台	1 2 人
40 歳台	1 6 人
50 歳台	2 6 人
うち 50～54 歳	1 1 人
55～59 歳	1 5 人
60 歳台	5 0 人
うち 60～64 歳	2 0 人
65～69 歳	3 0 人
70 歳台	9 3 人
うち 70～74 歳	3 6 人
75～79 歳	5 7 人
80 歳以上	4 2 人
計	2 7 8 人

最年少 14 歳 (男)

最高齢 88 歳 (女)

○ 県別応募状況 (応募人数)

ブロック別	都道府県	応募人数	割合
北海道 (1)	北海道	1	0.4%
東北 (115)	青森	0	0.0%
	岩手	4	1.4%
	秋田	2	0.7%
	山形	7 1	25.5%
	うち米沢	(20)	(7.2%)
	うち市外	(51)	(18.3%)
	宮城	1 1	4.0%
	福島	2 7	9.7%
北信越 (18)	新潟	1 6	5.8%
	長野	1	0.4%
	富山	1	0.4%
	石川	0	0.0%
	福井	0	0.0%
関東 (53)	東京	1 7	6.1%
	茨城	3	1.1%
	神奈川	1 3	4.7%
	群馬	1	0.4%
	栃木	2	0.7%
	千葉	8	2.9%
	山梨	0	0.0%
	埼玉	9	3.2%
	静岡	4	1.4%
中部 (23)	岐阜	3	1.1%
	愛知	1 0	3.6%
	三重	6	2.2%
	滋賀	4	1.4%
関西 (26)	京都	4	1.4%
	兵庫	8	2.9%
	大阪	7	2.5%
	奈良	2	0.7%
	和歌山	1	0.4%
	鳥取	0	0.0%
中国 (18)	島根	1	0.4%
	岡山	3	1.1%
	広島	5	1.8%
	山口	9	3.2%
四国 (7)	香川	0	0.0%
	愛媛	5	1.8%
	徳島	1	0.4%
	高知	1	0.4%
九州・沖縄 (17)	福岡	3	1.1%
	佐賀	0	0.0%
	長崎	0	0.0%
	熊本	1	0.4%
	大分	4	1.4%
	宮崎	0	0.0%
	鹿児島	2	0.7%
	沖縄	7	2.5%
	計	2 7 8 人	100.0

第19回秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞審査結果

賞	部 門	題 名	単・組別	氏 名	住 所	備考
文化賞	花	荘厳と奥ゆかし	単	藤倉 裕	山形県米沢市	※

賞	部 門	題 名	単・組別	氏 名	住 所	備考
部門賞	自然・生き物	残照の田園	単	高橋 勝美	福島県福島市	
部門賞	自由	水没林の夕べ	単	馬場 正幸	福島県福島市	
米沢賞	自由	破邪の白銀一閃	単	日下 賢一	宮城県仙台市	
ユース賞	花	あちこちキョロキョロ	単	齋藤 泰誠	宮城県仙台市	中学3年生

賞	部 門	題 名	単・組別	氏 名	住 所	備考
入 選	花	雨上り	単	島田 壽弘	新潟県村上市	
入 選	花	べールをまとう	単	川口 喜美恵	京都府京都市	
入 選	花	輝きの中で	単	原田 協子	山形県山形市	
入 選	花	凜として	単	山口 進	新潟県新潟市	
入 選	花	恵みの雨	単	藤脇 正真	福岡県北九州市	
入 選	花	石垣にさく情熱の赤	単	玉城 充	沖縄県石垣市	
入 選	花	遠霞	単	勝山 輝夫	福島県福島市	
入 選	花	仲夏の使者	単	丸山 賢治	愛知県豊川市	
入 選	花	精華	単	竹岡 正行	岐阜県可児市	
入 選	花	実りのはじまり	単	広瀬 邦仁	長野県飯田市	

賞	部 門	題 名	単・組別	氏 名	住 所	備考
入 選	自然・生き物	朝露に眠る稲穂	単	涌井 礼子	福島県福島市	
入 選	自然・生き物	山神様のお使い姫（さくら）	単	芳賀 長悦	山形県寒河江市	
入 選	自然・生き物	陽光への階段	単	小田 幸司	京都府宇治市	
入 選	自然・生き物	吾妻のボス	単	植松 晃	山形県山形市	
入 選	自然・生き物	静寂の湖	単	板垣 俊	新潟県新発田市	
入 選	自然・生き物	春ほころぶ	単	佐藤 友美	神奈川県横浜市	
入 選	自然・生き物	里山新幹線	単	福田 康幸	栃木県鹿沼市	
入 選	自然・生き物	冬の山寺	単	山口 喜吉	山形県川西町	
入 選	自然・生き物	悠々と	単	磯村 虹太	大阪府枚方市	高校2年生
入 選	自然・生き物	この刻だけ	単	山田 哲夫	山形県米沢市	※

賞	部 門	題 名	単・組別	氏 名	住 所	備考
入 選	自由	浜の人	単	春日井 義三	愛知県一宮市	
入 選	自由	炎に臨む	単	田代 和美	山形県米沢市	※
入 選	自由	幻想の世界へ	単	滝口 寿郎	山形県天童市	
入 選	自由	雪あかり、月あかり	単	小田 浩昭	山形県米沢市	※
入 選	自由	あとちょっと！	単	谷野 和恵	山口県山陽小野田市	
入 選	自由	未知との遭遇	単	蜂谷 雅人	東京都品川区	
入 選	自由	朝霧に浮かぶ	単	鳴瀧 壘	兵庫県稲美町	
入 選	自由	期待	単	井上 せつ子	大分県大分市	
入 選	自由	晩夏	単	鳥居 秀行	山形県山形市	
入 選	自由	勝関の華	単	石井 多維知	山形県米沢市	※・高校1年生

※米沢市在住・応募受付順

第19回

秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞 募集要項



第18回 文化賞〈自然・生き物部門〉「生きる(共生)」 高橋克巳（山形県天童市）

応募期間

令和8年6月1日（月）～令和8年8月7日（金）（必着）

『撮りもどそう 日本』

写真家秋山庄太郎氏は、東北における撮影拠点とするため、米沢市内にアトリエを営みました。誰とでも分け隔てなく接する秋山氏は、アトリエの囲炉裏で写真愛好家らと写真談義の花を咲かせ、生涯にわたって米沢で写真芸術の指導にもあたりました。

人情に接し郷愁に包まれた米沢での秋山氏の撮影作品の奥には、見失いがちな日本の心も映し出されているのではないのでしょうか。素晴らしい作品を数多く遺された秋山氏との縁を私たち米沢市民は誇りに思い、これからも写真を通して心温まる日本の情景を見つめていきたいと願っています。

米沢市では、本市とのかかわりが深い秋山庄太郎氏の功績を称え、写真文化の振興に寄与するため「秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞」を平成19年に創設しました。米沢を主要撮影地のひとつとして写真芸術に取り組まれた秋山氏の理念に敬意を表し、日本の心をとらえた抒情あふれる写真を全国公募いたします。



撮影：山下武



秋山庄太郎（あきやま・しょうたろう 1920～2003）

女性ポートレートで第一線にたつ写真家としての地位を揺るぎないものとする。花をライフワークとし、写真芸術の普及に貢献、数々の写真団体の要職を務める。紫綬褒章、旭日小綬章受章。没年まで米沢市松が岬のアトリエ「山粧亭」を拠点に撮影活動を展開、写真愛好家の指導にも尽力した。

主催 秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞実行委員会・米沢市

協力 秋山庄太郎写真美術館・カメラのキタムラ・新潟フジカラー・秋山庄太郎写真芸術協会
(公社)全国高等学校文化連盟正会員団体高等学校文化連盟全国写真専門部

過去の受賞作品が下記でご覧いただけます。
URL <https://www.city.yonezawa.yamagata.jp>



第19回 秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞 募集要項

1. 応募資格

国内に在住する写真愛好家
2. 作品部門

(1) 花 (2) 自然・生き物 (3) 自由 (人物・スナップ等)
3. 応募期間

令和8年6月1日(月)～令和8年8月7日(金) (必着)
4. 賞

文化賞 / 1点 賞状、賞牌並びに副賞 20万円
部門賞 / 2点 賞状、賞牌並びに副賞 5万円
※ 部門賞に選考された3点の中から1点に文化賞を授与します。
米沢賞 / 1点 賞状、副賞 3万円 ※米沢らしさが感じられる作品(部門は問いません。)
入選 / 30点 賞状(部門毎10点)
ユース賞 / 若干名 賞状、記念品 ※応募時に18歳以下もしくは高等学校在学中の方で、若者らしさが感じられる優秀な作品を顕彰する場合があります。(部門は問いません。)
5. 審査

審査員長 福原 有一 (日本写真会会長)
審査員 友永 詔三 (造形作家)
審査員 舘 弘美 (フォトアーティスト、秋山庄太郎写真芸術協会講師)
審査員 上野 正人 (秋山庄太郎写真芸術館館長) ※敬称略
6. 応募規定

(1) 作品には題名を付け、1枚(組写真は5枚以内)を1点とし、応募点数は3部門合わせて1人5点以内とします。
(2) 用紙サイズは、モノクロ、カラー写真ともに6切(203mm×254mm)、W6切(203mm×305mm)、A4(210mm×297mm)、4切(254mm×305mm)、W4切(254mm×365mm)のプリントに限ります。
額装したり台紙に貼ったりしないでください。組写真はつなげないでください。
(3) 応募作品の裏面に、必要事項を記入した応募票を、写真の向きに合わせて貼付してください。組写真は1枚ごとに組番号を記入し1枚ずつ貼付してください。(応募票は必ずメンディングテープで貼付してください。)
(4) 撮影する被写体に関しては、公序良俗に反しないもので、肖像権のほか管理、所有権等に問題が生じないように、応募者の責任において了解をとってください。
(5) 加工や合成した写真は不可とします。(例えば、写っていないものを追加、写っていたものを削除したりすることは不可です。色調整及びトリミングは問題ありません。)
(6) すでに別の賞を受賞した作品(類似作品を含む)は、応募できません。また、他のコンテスト等との二重応募はご遠慮ください。入賞・入選決定後の辞退はできません。
(7) 入賞・入選の決定後に、応募規定に反することが判明した場合は、入賞・入選を取り消すことがあります。
(8) 文化賞・部門賞及び米沢賞受賞者には、応募作品の原板(フィルム又はJPEG形式で保存されたCD-R等の記録メディア)を提出していただきます。原板を提出いただけない場合は、入賞が取消されますのでご注意ください。
なお、提出いただいた記録メディアは返却いたしませんのでご了承ください。
(9) 受賞作品の著作権は応募者に帰属し、使用权は主催者に帰属します。
(10) 応募作品は原則として返却いたしません。作品の返送を希望される場合は、返送先を記入した宅配便伝票(着払い)を必ず添付してください。なお、入賞・入選作品は返却いたしませんのでご了承ください。
7. 作品送付先(お問い合わせ先)

応募作品は郵送(簡易書留または書留)もしくは宅配便で下記宛にお送りください。
〒992-0012 山形県米沢市金池3-1-14 置賜総合文化センター
米沢市観光文化スポーツ部文化課内 秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞事務局
TEL 0238 (21) 6111 内線 7551 FAX 0238 (21) 6020 Eメール bunka-t@city.yonezawa.lg.jp
8. 入賞発表

令和8年10月上旬予定 授賞式・入賞作品展: 令和8年10月下旬予定

切りとって宛名ラベルとしてご利用ください
(使用しなくても構いません)

〒992-0012 山形県米沢市金池3-1-14 置賜総合文化センター
米沢市観光文化スポーツ部文化課内 秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞事務局 行

第19回 秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞 応募票

作品	部門名	☐ 花 ☐ 自然・生き物 ☐ 自由 (人物・スナップ等)				
	ふりがな					
	題名			撮影場所		
	撮影年月日	平成・令和 年 月 日	組写真	枚組の 枚目		
	☐ フィルム ☐ デジタルカメラ ☐ スマートフォン	☐ 作品返却希望 ※着払い伝票を同封してください				
作品	使用カメラ	使用レンズ				
	作品解説					
応募者	(入賞作品展などで作品とともにご紹介する場合があります)					
	ふりがな			生年月日	性別	職業
	氏名	(原則として応募は本名に限ります)		大正・昭和・平成・令和 年 月 日	男・女	(学生の場合は学校名・学年)
	住所	〒				
	電話番号	(日中連絡のとりやすい番号をご記入ください)		受付番号		

※太枠内を記入してください。 ※□にレ印をつけてください。 ※組写真の場合は、何枚組の何枚目かを記入してください。
※複数の作品を応募される方は、応募票を複写してお使いください。
※応募票を作品裏面にメンディングテープで貼付してください。セロハンテープ、マスキングテープ、のり付けでの貼付けは 厳禁 とします。

↑ 作品の向きにあわせてください